

# 介護新聞

## 介護保険制度、報酬評価の在り方など地方から提言

### オホーツク圏域の事業者、職能団体、行政がフォーラム

次期介護保険制度見直しや介護報酬改定に向け、事業者団体、職能団体、行政が協働し、フォーラム「あすの介護保険を考えるーみんなで作るオホーツクの福祉・介護の課題をー」を21日、北見市内で開いた。シンポジウムでは制度、報酬評価の在り方など、地方から提言。関係者が連携し、共生していける地域づくりを進め、地域を守る後ろ盾となることが宣言された。

### 事務協業化を提案



早川座長(左)と藤木座長(右)の座談会

早川座長(北海道認知症高齢者グループホーム協議会)と藤木座長(北海道介護支援専門員連絡協議会)の座談会。早川座長は「北海道認知症高齢者グループホーム協議会、北見地区介護支援専門員連絡協議会、北海道介護福祉士会、北海道福祉士会、北見市福祉センター、北見市保健医療センター」の連携を提言した。

### 北海道発信の現場ニュース 中央情勢もタイムリーに

情報提供は編集部へ FAX 011(221)86911  
購読の申し込みは 011(221)7777

Eメール kaigo@medim.co.jp

福祉、行政各関係者ら約百五十人が参加した。基調講演した藤木座長は、人口構造変化、介護保険が負担している費用に見

### 連携し共生する地域づくり宣言も

合う価値、チームケア、びかけた。シンポジウムで青山由美子エーデルワイス社長は施設・居住系サービスは「地域全体で支える視点が必要」なえ、認知症GHや特養などと述べ、参加者一人ひとりが制度の方向性を考え発信するよう呼

シンポジウムでは各立場から現状が報告され課題や改善点を提起。要介護状態改善を評価する成功報酬などに加え、施設・地域で人材交流の必要性を強調。居宅介護支援の立場から松本大吾医療法人治恵会北見中央病院介護部代表(小泉昭江)は、見地区介護支援専門員連絡協議会長代理)は、担当者による指導内容の違い、報酬評価を含め独立型ケアマネや一人ケアマネのサポートなどを要望。地域性に合わせた独自サービス提供へ、基準該当サービス活用など挙げた。

早川座長は「訪問看護が利用しやすい介護保険にしてほしい」と指摘。銀田聡地域包括支援センターあぼり東所長は地域との「同行名詞の関係づくり」や積極的に地域に向き専門家が住民の立場で関わる大切さを説明。インフォーマルサービスの加算創設を訴え、「評価されなければ地域包括ケアは進まない」と述べた。

早川座長は「訪問看護が利用しやすい介護保険にしてほしい」と指摘。銀田聡地域包括支援センターあぼり東所長は地域との「同行名詞の関係づくり」や積極的に地域に向き専門家が住民の立場で関わる大切さを説明。インフォーマルサービスの加算創設を訴え、「評価されなければ地域包括ケアは進まない」と述べた。



シンポジウムでは各立場から現状が報告され課題や改善点を提起

シンポジウムでは各立場から現状が報告され課題や改善点を提起。要介護状態改善を評価する成功報酬などに加え、施設・地域で人材交流の必要性を強調。居宅介護支援の立場から松本大吾医療法人治恵会北見中央病院介護部代表(小泉昭江)は、見地区介護支援専門員連絡協議会長代理)は、担当者による指導内容の違い、報酬評価を含め独立型ケアマネや一人ケアマネのサポートなどを要望。地域性に合わせた独自サービス提供へ、基準該当サービス活用など挙げた。